

独ハンデルスブラット紙 コリング東アジア特派員と懇談 —グローバルな課題に対する企業戦略に着目—

2023年10月5日

講師：マーティン・コリング

ハンデルスブラット 東アジア特派員



経済広報センターは10月5日、東京・大手町の経団連会館で、ドイツ経済紙「ハンデルスブラット」のマーティン・コリング東アジア特派員との懇談会を開催した。企業の広報担当者ら約30人が参加した。

冒頭、コリング氏は、ドイツでは日本以上にデジタル化の影響を受けて新聞購読者の減少が進んでおり、海外特派員の数も減少しているとの現状に触れつつ、自身も、東アジア特派員として、日本、韓国、台湾を一人でカバーしていることを紹介した。

続いて、同紙ではデジタル版の購読者が約70%を占めており、「デジタル・ファースト」の方針のもと、紙版とデジタル版とは同一の編集方針としているものの、字数の制約が少ないデジタル版の方が紙版よりも詳細な内容となることが多いと説明した。

日本企業を取り上げる際のポイントとしては、ドイツ国内で議論となっているテーマに適合していることを前提としたうえで、各社の企業戦略にとどまらず、それを通じてグローバルな課題にどう取り組んでいるかに着目していると言及。直近の例として、ドイツでも非常に関心が高い脱炭素に向けた取り組みとして、日本ガイシのCO₂回収用セラミックス装置を取り上げたことを紹介した。加えて、欧州メディアが日本企業を取り上げる際には、読者の関心を集めるストーリーをいかに描けるかが重要であり、ユニークな経営者や開発者を紹介することが有益とも指摘した。

以上

一般財団法人

経済広報センター

国際広報部

〒100-0004 東京都千代田区大手町1-3-2 経団連会館19階

電話：03-6741-0031

<https://www.kkc.or.jp/>

<https://en.kkc.or.jp/>

※本稿の無断転載を禁じます。